

ADDS Kids1st 鎌倉

児童発達支援事業所評価公表(自己評価)

公表日:令和6年 3月 26日 回収数11

	設問	回答(%)		職員の意見	事業所からの回答 (改善内容又は改善目標)
		はい	いいえ		
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100	0		
	2 職員の配置数は適切であるか	100	0		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100	0	段差の無いバリアフリー化がされている。	玄関やトイレの入り口に段差がないようにしています。 また、エレベーターが設置されているため、車いすの方も通所していただけます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100	0	日に三回の清掃や消毒がされている。	感染症対策のための消毒も継続しています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100	0		
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	91	0		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	91	0		年度末にホームページにて掲載しています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	45		現在第三者評価を行っていないため、今後外部評価を依頼するか等検討致します。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	91	0	研修ではないが、ロールプレイも含め情報共有や交換の機会が多い	法人内で研修を開催したり、児童発達に関する情報の共有を行っています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100	0		
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100	0	新版K式発達検査などを実施しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	82	0		児童発達支援ガイドラインに基づき、支援内容を設定しております。本件につきまして、非常勤職員、勤務日数が少ない職員への理解を図ってまいります。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100	0		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	91	9		
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	91	0		
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	100	0	集団適応を念頭に置いた課題を含む構成で日々の取り組みを設定しています	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	55	36	・必ず打ち合わせは無いが、必要に応じて確認や打ち合わせが行われている。 ・内容に応じて適宜行っている ・個別支援の開始時間がまちまちであることから、どの時間に開始する職員も確認ができるようツールを用いて情報共有を行なっています	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	64	36	・必ず無いが、必要に応じて行っている。 ・内容に応じて適宜行っている ・同様に、個別支援の終了のタイミングがまちまちであることから、常時ツールを使って共有を行なっています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100	0		
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	91	0			
21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	91	0		児童発達支援管理責任者をはじめ、お子様の支援に関わる職員が参画しております。本件につきまして、非常勤職員、勤務日数が少ない職員への理解を図ってまいります。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	64	0	健診で気になるところのあったお子さんについて気軽にご相談いただけるよう取り組んでいます	地域に根差した支援を広げていくため、関係機関と対象のお子様について情報共有する機会を増やし、お子様とご家族の支援に繋げています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			医療的ケアや重症心身障がいのある子どもがいない	医療的ケアが必要なお子様にも通所いただけるよう、看護師を配置して受け入れの準備をしていますが、実際のご利用に繋がるよう、ニーズにより対応した仕組みを検討してまいります。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			医療的ケアや重症心身障がいのある子どもがいない	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	73	0		就学前のお子さんは保護者が希望されている場合は、保育園や幼稚園へスタッフが訪問し、お子様の様子を他職種で情報を共有しています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	64	0		就学前のお子さんは保護者が希望されている場合は、就学先に情報共有するための書面を作成しています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	64	0		相談支援事業所を含めた担当者会議に参加しております。保護者の方からご希望をいただいた際には、児童発達支援管理責任者をはじめ、お子様の支援に関わる職員が連携を行っております。本件につきまして、非常勤職員、勤務日数が少ない職員への理解を図ってまいります。
保護者への説明責任等	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9	55	同じ建物に保育園及び子育て支援センターが併設されています	ADDSでは機会を設けていませんが、保育園や各地域のコミュニティに参加しているご家庭が多いです。お子さんご本人やご家庭からのニーズが多くあった場合検討致します。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	18	36		鎌倉市の事業所連絡会の代表事業所が参加しております。協議会開催前に、事業所連絡会に参加している各事業所の意見を提出する機会を設けてもらっております。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100	0		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	100	0		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	91	0		ご利用者様がいつでもご覧いただけるように、運営規程は事業所の待合スペースに設置しています。ご利用者様に発生する負担等につきましては、ご契約の際に説明をさせていただきます。非常勤職員、勤務日数が少ない職員についても運営規定や利用者負担等の理解を図ってまいります。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	82	0		すべての職員が児童発達支援計画の内容や、ガイドラインについて理解を深めていけるように今後説明の機会を設けてまいります。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	64	9		令和5年度は「先輩パパママ講演」を開催し、卒業生の保護者と現在ご利用の保護者が交流する機会を設けました。ご講演いただいた保護者様には、当時の家庭療育の様子や、現在の工夫についてお話しいただきました。多くの方からご好評をいただきましたので、今後も開催していく予定です。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	55	9		・事業所で実施する避難訓練のお知らせなどをメールにてお送りしています。 ・SNSを通して情報発信している。連絡等についてはメール等を用いて確実に行なっている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100	0		支援の中で得られました全ての個人情報その他のデータは、二重に施錠可能な場所に保管し、その管理は事業責任者が行っております。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	91	0		

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	45	36	感染症拡大の懸念から地域へ招待をする形での実施について慎重にならざるを得ないが、地域での行事に団体として参加することや、媒体を使った啓発活動等で地域支援を実践している	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	91	0	マニュアルは策定されているが、職員・保護者への周知は出来ていない。	建物内の他機関と合同で災害時訓練を行っているため、開催が不定期となっております。訓練を開催する際には、事前に当日ご利用の保護者様にご連絡をしています。より多くのご利用者様に避難経路等の情報を共有するため、今後も周知方法を工夫して参ります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	45	18	・通所開始時に健康状態についてお伝えいただき随時変更あればお知らせいただく形としている ・持病は確認しているが、服薬や予防接種の確認はしていない。	ご利用者様の皆様に「救急医療情報」として持病、服薬、アレルギー、その他のお身体の具合、かかりつけ病院を伺っています。 てんかん等、支援時に配慮や対応が必要なケースは、担当と共有しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	27	9	食事提供が無いため指示書提出を求めている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100	0	過去のヒヤリハット報告書を事業所内分りやすいところに置き閲覧できるようにしている。	積極的にヒヤリハットの案件を発見、確認し、再発防止に努めています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	91	0		法人内で身体拘束廃止に向けての対策や、虐待防止のためのガイドラインを定めています。 職員間で情報を共有する研修を開催し、防止に努めています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。